



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF K O B E

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

CHARTERED FEBRUARY 17 · 1930



- ブラザークラブ：高雄（台湾） チェンマイ（タイ） 米子（西日本区）
- 国際会長主題：世を照らす光となろうー恵みを愛もて分かち合おう
- アジア会長主題：歳月はY'sをワイズ（賢者）にするー行動が活力を呼び覚ます
- 西日本区理事主題：先頭に立ってワイズの光を輝かそう、クラブで、地域で、国際社会で
- 六甲部部長主題：柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう
- クラブ会長主題：クラブの伝統を踏まえ、クラブの新しい「顔」を作るべく、それぞれの役割を楽しもう

2013年6月

評価・計画 強調月間

今月の聖句

「わたしがあなたを、イスラエルの家の見張りとする。わたしの口から言葉を聞いたなら、あなたはわたしに代わって彼らに警告せねばならない」。

旧約聖書エゼキエル書3章16節

6月11日(火)第1例会

開会点鐘 18時30分 進藤啓介会長
 ドライバー 尾上尚司副会長
 ワイズソング
 聖句朗読・開会祈祷
 [プログラム]
 ・タイ・ワークキャンプ報告
 タイワーク参加リーダー
 ・次年度に向けて
 報告および事務連絡など
 ハッピーバースディ
 閉会点鐘 20時00分 進藤啓介会長

6月誕生日おめでとう

3日 林 健夫
 11日 原 伸行
 23日 山口 明子

5月在籍者	5月出席者	5月出席率
19名	メン 15名	79%
広義会員	メネット 12名	(含メイキャップ)
0名	コメット 0名	前月出席率
合計 19名	ゲスト 0名	74%
	合計 26名	

5月分BFポイント

切手 0円	現金 14850円
本年度累計	
切手 0円	現金 14850円

6月25日(火)第2例会 19:00~

- ◎7月例会について
 - ◎次年度例会スケジュール確認
 - ◎その他事務連絡
- 第2例会においても、重要な議題を協議し決めてゆきます。都合をつけて出席をお願いします。

会長 進藤啓介 副会長 尾上尚司 会計 森 章一
 書記 山本亮司 連絡主事 山本亮司

口座番号 三井住友銀行三宮支店 普通預金No. 1494643 名義人 神戸ワイズメンズクラブ 会計 橋本正晴
 例会：第1例会 毎月第2火曜日 18:30 第2例会 毎月第4火曜日 19:00

会長メッセージ 有難うございました

進藤啓介

早一年がたとうとしています。何もわからない私をお世話くださり、またサポートを頂き、皆様にはほんとに感謝申し上げます。皆様の御蔭で何とか一年を乗り切ることが出来そうです。

年度初めは「この一年どうなる事やら?!」とっておりましたが、何とか最初に決めた事は、八割方出来たのではないかと思います。「皆の力で、役割を愉しみつつ、クラブの新しい顔を作りたい」のが思いでした。当然のことながら、未だ新しい顔はできてはいませんが、私の足りない処を、皆さんがそれぞれの役割を果たしていただくことで補っていただき、少しはクラブが動き出したのではないかとお思います。

この一年、一番大事にしたのが クラブメンバー全員参加を目指して「各委員会が、年に一回、例会を企画運営する」事でした。その中から、次年度の神戸クラブの活動のヒントが見えてくるだろうとっておりました。そういう意味では、地域奉仕にしる、ファンドにしる 又、EMC・広報にしる新しい動きが出てきた事は大変楽しみにしてよい事ではないかと思おいます。

次に思っただ事はYMCAの主事、ユースとの新しい接点を模索する事でした。もちろん、Yサ・ユース事業の面では例年どおり、クラブとして大きな働きをしたと思おいますが、何か新しい、今までのトレンドではない活動のヒントを見つけないかと思おりましたが、発見できずに終わった事は残念です。

何はともあれ、今年の課題を大事に振り返り次年度の肥しにしたいと思おいます。一年、本当にありがとうございました。

5月11日第1例会

5月第一例会は、時間をかけて様々なことから検討できるようにと、通常の火曜日から土曜日午後に変更し、井出宅を借りての開催となった。

2013年度事業委員案の確認をおこなったあと、今後の例会会場について討議された。

YMCA三宮会館の建て替えにともない、2014年春から、会館内で開催できなくなるため、新たに会場の場を検討する必要に迫られている。様々な意見が出されたが、これから一年で、数か所の会場を当たり、YMCAとの距離感も踏まえつつ決定することとなった。

また、クラブの核となる地域奉仕活動についても話し合わせ、今後、NPO法人「ネットワーク神戸」、社会福祉法人「はんしん自立の家」、神戸YMCAの東日本大震災復興支援企画の3件を地域奉仕の対象として検討することとなった。

神戸クラブ紹介リーフレットについても、その内容、クラブ紹介の表現等についても様々な意見が出された。

例会としての討議を終えたのち、一品持ちよ

りの会食と懇談の時間をもち、例会討議とはまた異なる形で意見交換をし、親睦を深めることができた。

また、終盤、JOCSの大江浩氏が飛び入り参加。興味深いお話を伺うこともできた。

(ブリテン委員)



＜今月の聖句に添えて＞

これは旧約聖書の言葉であるが、この箇所の見出しには「預言者の努め」とある。預言者は将来の事を予言するのではなく、神の口から言葉を預けられて、それをそのまま語るの
である。信徒も牧師も預言者的思いを抱いて
いなくてはならない。

(山根貞夫司祭@神愛修女会・深和ホーム)

宝塚ワイズメンズクラブ 25周年記念例会に参加して

長内 靖子

5月25日(土)宝塚ホテルにて、亡き成瀬メンの写真に見守られながら、第1部記念式典が長尾会長の開会点鐘で始まりました。周防大島教会辻建牧師は「悲しみを克服するとき、人間の優しさ・思いやりを心の中に持ってかわしあうことで人間と人間の繋がりが出てくるのではないか、ワイズメンズクラブが心の営みをかわしあうところから始まってくるのではないか」と説教されました。

第2部記念講演は、細川佳代子氏「インクルージョン社会を目指して」。氏とスペシャルオリンピックスとの関わりは熊本ワイズの中村氏の話しを聞いて感動したことから始まったそうです。パラリンピックとの違い、スペシャルオリンピックスに出場する子供の選考基準、世界大会での様子、日本に冬季世界大会を開催するまでのこと、そして、養護学校卒業後の就職の事、等々のお話。そして「冬季長野スペシャルオリンピックスから10年後みんなが笑顔で暮らせる社会になっているか。勇気という翼をつけて飛び上がろうと『勇気の翼2015年にインクルージョン』を設立し(インクルージョン=包みこむ共生)、誰一人排除されないで社会参加し、いきいきと暮らす社会をめざしている。私たちにできることは、優しい笑顔とありがとう。」と結ばれました。

第3部祝会では宝塚クラブの活動紹介。アトラクションはフラダンス(周防大島と関学のフラと石田由美子メン)。美味しい食事と友好を深める楽しい雰囲気の中、有意義な時間を過ごすことができました。

お知らせ

▼武田寿子会長感謝会

11年にわたり、公益財団法人神戸YMCAの理事長、また神戸キリスト教青年会の会長の重責を担ってこられた武田寿子氏が、この度退任されることとなりました。

これまでのお働きを思い、感謝の会が開催されます。

日 時：7月6日(土)午後5時～7時

場 所：ANAクラウンプラザホテル ロビー階
「ザ テラス」

会 費：6000円

申 込：6月末日までに神戸YMCA本部事務局
まで、お電話もしくはファックスにて。

▼2013年度役員、各委員長

会 長： 進藤啓介

副会長： 井出 浩、 長内建佑

会 計： 森 章一

書 記： 鵜丹谷剛、 山本亮司

監 事： 橋本正晴

六甲部地域奉仕・環境事業主査： 山口 徹

各委員長

Yサ： 川崎孝子、 美崎 晋

ファンド： 長内建佑

EMC： 鵜丹谷剛

交流： 城 純一、 大塚章信

地域奉仕： 山口 徹、 菅原 進

広報： 井出 浩、 鵜丹谷剛

メネット会長： 長内靖子

連絡主事： 山本亮司

メール委員： 進藤啓介

マンスリーレポートから

▼ 第31回午餐会

国際港湾都市として発展してきた神戸には多くの外国人が違った宗教をもってコミュニティを形成してきました。その歴史を辿りながら異なった宗教が共存してきた街、神戸について学びます。是非、ご参加ください。

日 時：7月6日(土)正午～午後2時

場 所：神戸YMCA 4階 会議室

テーマ：「ミナト神戸の宗教とコミュニティ」

講 師：徐 亦猛(ジョ・イソ)さん

会 費：1,500円(昼食代含む)



Kobe Menettes

Declared March 10·1965

お茶の愉しみ

井出富光子

学生時代、お茶くらいは習っときなさい、と母に言われ、別に何の考えもなく、一番当たり前なのは裏流だからと、お寺の娘と二人で習い始めた。先生はご近所に住んでいらっしやった、もと大阪で芸者さんをなさっていた方だった。小柄なしゃんとした美しい人である。当時、たぶん七十歳を超えていらっしやったと思うが、なかなか厳しい先生で「何回言うたら覚えませぬん」と何度も叱られウロウロたじたじの稽古であった。夏には、淡い水色に流水模様の麻の着物に花火の図柄の帯を締められ「お座敷に出たころの古い古いもんやけど」とお若い頃を彷彿とさせる出で立ち。一緒にご飯を食べた時は「お箸は、端から一寸しかぬらしたらあきまへん」と言われ、その通り3センチしか汚れない何とも綺麗な食べ方。裾を引いていらっしやった時代の思い出話・・・姉さん芸者に苛められたこととか、嫌な客にもててもてて困ったこととか、好きな客のために大根断ちの願掛けをしたのに、その日のうちに大根おろしを食べてしまいワヤになってしまったこととか・・・お茶の作法はさっぱり忘れたが、こんな話はよく覚えている。

たった一年か二年の間、寺の離れの茶室で過ごしたあの不思議なお稽古の時間、低い屋根の古い建物に漂う湿った空気の匂い、雨の音や風の流れ、シュンシュンと沸く釜や、抹茶の香り。弟子が二人だけだったので、毎回、それぞれが二回ずつお手前をし、お菓子も二回食べ、お茶も二回飲んだこと。楽しくてたまらないというわけではなかったが、割と休まず通っていた。先生が体調をくずされ、お稽古は何となく終わってしまったが、その時は別に残念にも思わず、人前でお茶を点てるのまでは無理だけど、もしどこかで、お茶を出された時、どうにか恥をかかなくてすむ程度のことは出来る。これでよし。と思っていた。ずっと何十年も。

最近、ここ二、三年くらい前から、日常の中でお茶を点てるのが楽しみになった。お休みの日の午後など、ゆっくりとお茶を飲む。もちろん本式なことではなく、簡単に茶筌でしゃかしゃか点てるだけである。しかし、この頃いろんなことが気になるようになった。まず、お茶碗、家にある適当な抹茶茶碗では物足りなくなった。高価なものというのではなく、自分の好きなお茶碗で飲みたい。次に棗、我が家の棗は私が嫁入りの時に持ってきたごく普通の黒漆だが、阪神淡路大震災の時投げ出され、傷だらけになっている。ちょっといい棗が欲しい。黒い漆に映える抹茶の緑を楽しみたい。夏用にガラスの棗も欲しい。抹茶のグリーンが透けて見えるような。お茶の時にただくお菓子の季節感にも敏感になる。今頃なら、青梅、水無月、紫陽花、衣替、水牡丹・・・お茶を点てている時、飲んでいる時はほんの短い時間だが、その短い時間に流れる空気は濃密である。

先日、ある雑誌が茶箱の特集をしていた。茶箱とはお茶に使う道具（茶碗、茶入れ、茶筌など）一切合切を入れる箱で、市販のものもあるが、どこからか自分にあつた箱を見つけて流用するのも楽しい。そしてその中に自分の好きな道具を詰め、外に出かけ野外や友人宅でお茶を点てる。

春夏秋冬、それぞれが自分の茶箱を持って集まり、おいしいお菓子をいただきながら、小さな気楽な簡単なお茶会をしたい。その季節とおしゃべりを楽しみ、さらっと終わる。

ぼちぼち私の茶箱を探してみよう。



今お気に入りの信楽焼小茶碗
傷だらけの棗、無銘の茶杓
そろそろ替え時の茶筌